放課後等デイサービス　事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和5年3月20日　　事業所名：放課後等デイサービス　視覚支援　あいあい教室

区分		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7	0	0	食事や活動では、コロナの感染状況によって館内のホールや貸室を利用。	
	2	職員の配置数は適切であるか	5	2	0	障がい特性等を考慮し、配置基準以上の職員を配置している日は多い。	今後も適切な支援が提供できるようにしていく。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	1	0		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5	1	1		今後、広く参画できるようにしていく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	1	0		保護者向けアンケートと今年度から独自のアンケートを実施。保護者の意向の把握に努めていく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7	0	0	ホームページに毎年掲載して保護者、職員、外部も閲覧可能にしている。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	6	1	0	京都市の巡回指導は実施。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	1	0	法人、事業所内部および外部研修に参加。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	0	0	子ども本人のニーズを聴取するのが難しい場合もあるが、代わりに保護者の意向も聴取している。	
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7	0	0	共有のケースファイルを参照している。	

区分		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	1	0		
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	1	0		好評なプログラムは、何回か実施をしている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7	0	0		きめ細やかまではできていない場合もあるため、より細かな設定ができるよう努める。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	0	0	生活動作、視覚支援、宿題等含めた個別活動を行っている。	職員研修などを充実させ、今後ともよい支援ができるように努めていく。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	2	1	土曜日や長期休み中はホワイトボードを活用している。	できるだけ職員間の打ち合わせを行っていく。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	1	0	参加できない時は振り返りノートを見たりいた職員に聞いたりしている。	振り返りの時間をできるだけ当日にできるように、今後とも配慮していく。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7	0	0		
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6	1	0		前期と後期にモニタリングを行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	5	2	0	少しずつ活動の幅が広がっている。	今後とも活動内容を工夫していく。

区分		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	1	0		子どもの状況をよく分かる職員が参画するようにしている。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	7	0	0		適切に対応するようにしている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	3	4			利用者によっては保護者経由。その他の医療的ケアは保護者対応としている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	6	1	0		あいあいの児童発達支援の継続の児童がほとんどなので、適宜情報共有を行っている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3	4	0		必要に応じて、行うようにしていく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	2	0	今年度は京都市の巡回指導を実施。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	6	0	1	地域のふれあい共生館の企画に参加。	今後とも、企画や参加を行う。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	5	2	0	定期的に参加。ライトハウスで行われる場合も多い。	今後とも参加していく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7	0	0		
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント･トレーニング等の支援を行っているか	6	1	0	保護者向け学習会を実施。	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	1	0	契約時、変更時、モニタリング時等に実施。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7	0	0	必要に応じて、個別に対応する機会を設けている。	

区分		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6	1	0	今年度から保護者懇談会を実施。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	0	0	苦情解決担当者を設置している。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7	0	0	毎月ホームページやつうしん、メール等を活用して発信。	
	35	個人情報に十分注意しているか	7	0	0		
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7	0	0		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	6	0	1		法人で「ライトハウスまつり」や視覚障害啓発事業を実施している。

区分		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5	2	0		必要に応じて個別緊急時対応は保護者確認のもと作成している。教室全体としてのマニュアル共有までには至っていないため、職員全体での共有を努める。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	2	0	法人内および活動内で行っている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7	0	0	アンケートや研修、ヒヤリハット事例集作成等を実施。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	7	0	0	同意書で内容確認を毎年実施。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7	0	0		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	1	0	毎月作成して保存し、常時閲覧可能になっている。	